# 平成 29 年度 事業中間報告書 (12月1日現在)

コース	☑自主事業コース □協働市民提案コース □協働行政提案コース			
事業名	さいころくらぶ			
団体名	特定非営利活動法人くらしき教育発達研究所さいころ			
担当課				

### 1 事業の成果

平成29年度申込書(様式第2号)に記載した「5(2)事業の実施に期待する効果」に対応する成果を記入してください。(※実施した事業の詳細は「4事業実施記録」に記入してください。)

利用者は安定している。

高校卒業や中学校進学など利用者がそれぞれの目標に向かって落ち着いて学習している。 また、アルバイトが継続したり、学校への行き渋りも減っている。保護者からの相談や通 院に関する相談も多く、そちらにも対応している。寄付は得られているが少額である。

#### 2 事業の自己評価

事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。なお、 想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。

70 点

#### 3 事業の課題

事業を実施する中で見えてきた課題を記入してください。

個人からの寄付は1人当たりは少額ではあるが運営に役立っている。今後は、寄付をして くれる個人を増やしたい。また、企業への広報も行い、協力を得たいと考えている。

## 4 事業実施記録

実施した事業の詳細を記入してください。

実施内容	実施日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象 者の人数
学習支援・居場所支援	4月 8日·15日·22日	特定非営利活動法 人くらしき教育発	10 人	10 人
	5月	達研究所さいころ		
	13 日・20 日	事務所		
学習支援・居場所づくり	6月	特定非営利活動法	14 人	16 人
利用者から精神的に不安定である旨相談があ	3 目・10 目・17 目	人くらしき教育発		
り、関係機関の会議に参加した。	7月	達研究所さいころ		
	1日・8日・15日	事務所		
	22 日			
学習支援・居場所づくり	8月	特定非営利活動法	10 人	10 人
	5日・19日	人くらしき教育発		
	9月	達研究所さいころ		
	2日・9日・16日	事務所		
学習支援・居場所づくり	10 月	特定非営利活動法	12 人	12 人
保護者から生活習慣について相談があり、ス	7日・14日・28日	人くらしき教育発		
ケジュール作りを一緒におこなった。	11 月	達研究所さいころ		
	4日・18日・25日	事務所		